

令和6年度 学校評価結果公表シート

令和 7年 3月 28日
学) 常盤学園 子どもの森幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・「4つのやくそく」（いいあたま・やさしいところ・じょうぶなからだ・がまんづよいこ）を基本として教育・保育を実践し、生きる力を育成します。
- ・食育の実践を通して、子どもの「食を営む力」の基礎を培います。
- ・子どもが健康で安全な園生活を送るために家庭、地域社会との密接な連携を図ります。
- ・地域子育て支援に積極的に取り組みます。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

園児にとって安心・安全な生活になるよう、教職員の連携体制のもと、子どもの主体的な活動を大切にして、園庭・保育室等の環境を整え、遊びやすい配慮や工夫を行い、子ども達が興味関心を持って遊びを展開して行けるようにする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育の理念	A	研修に積極的に参加し、必要な法令を理解し、教育要領、保育指針を理解した上で、園の教育理念や教育方針を理解し指導計画を改善している
2	保育計画	B	具体的なねらいや内容が適切であったかどうか、幼児の活動に沿って必要な援助が行われていたかどうかを常に振り返り、反省を生かして計画を改善して来たが、特色ある教育・保育活動の成果が出るように今後も進めて行く
3	保育の在り方・幼児の対応	B	子ども一人一人の理解を深め、幼児の育ちを多面的に捉えるために職員間で意見を出し合い保育内容の見直しを引き続き行っていく
4	保育者としての資質と能力	B	保育者が幼児の成長を喜び、一緒に生活を創り出して行く事を楽しいと感じ、意欲や満足して保育に携わっていく 保育に携わる職員が研修会等に参加をし、専門性を高め、質を高める努力を行っていく
5	地域の自然や社会との関わり	B	安全かつ安心した環境のもとで保育を行う事が出来るように環境をと整え、家庭との連携や地域の連携を図り、関係性を築いていく

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理 由
B	昨年度のふり返りから、本年度の目標に向かって引き続き取り組んできた。職員は本年度も意欲的に研修会にも参加し、専門性を高める努力を行った。保育の中では、すくなくプログラムも始まり、美術講師の指導のもと、「光」をテーマに子どもが興味・関心を持ち心が躍動する楽しい遊びや体験につながる保育を目指してきた。美術講師、外国人英語講師、ダンス講師が定期的に教育時間に指導を行い、活動後は振り返りを行い次への指導に繋げている。地域の小学校との交流も増え、近隣の老人施設の訪問も機会を設けている。自然に恵まれた教育環境も増え、子ども達の遊べる畑や広場ができる土地も広くなり、整備もはじめた。野菜作りからの食育教育はじめ、多様な環境の中でより良い教育・保育を実践している。統合保育では、療育センターとの接続もはじまり、今後、保護者や地域への情報の配信や子育て支援にも力を入れて行く。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	法令や理念・教育方針の理解	必要な法令、教育要領、保育指針を定期的に教職員で確認しあい、共通理解できるようにすると共に、積極的に研修会にも参加し、職員間での情報も共有していく
2	保育計画の改善	子どもたちの興味・関心を増やし、遊びを持続して楽しめる様に環境を整え、専門講師との連携も図りながら、更なる保育計画の改善をしていく
3	安全管理	緊急事態発生（事故発生時、大地震発生等）に備え、安全対策、防犯対策等安全面におけるマニュアルの見直し、追加、改善、職員への指導をしていくと共に保護者や地域との連携も行っていく
4	幼少接続	幼稚園と小学校の教師が、共に幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を接続プログラムや情報交換を通して共有し、教育の接続を図る事のできる機会を増やし、交流の場も増やして行けるように連携をとる
5	地域との関わり	画像で見たり、散歩にでかけたり、老人施設や地域の施設を訪れたりし、地域との関わりを密に保育活動を行っていく また、地域の方が園を訪れる機会も増やしていく

6. 学校関係者評価委員会の評価

1975年の開園以来、50年間、職員が力を合わせ地域の教育・保育を行って来ている。職員は教育・保育理念に基づき子どもたちを愛し、寄り添い、自己肯定感を育む事が出来るように配慮されている。また、個々の育ちを尊重したきめ細やかな教育・保育も実践し、子ども達は毎日楽しく通園している。

自然に囲まれた環境下で、その立地を生かしながら、園の目標に沿った教育が丁寧に行われている。保育者は、子供達の自主性を大切にし、温かく見守る姿勢が伺える。子供達の変化や変化や成長の細やかな気付きも多い。けがや体調不良の際も適切な対応が取られ、安心して任せる事ができる。令和6年度は、療育センターへのスムーズな接続が開始された。園からセンターへのバス送迎もあり、園庭の環境整備や正門の鍵の増設など、安全対策にも気配りがされている。安心安全でよりよい園を目指していることが伺える。

職員が日々、園児の過ごしやすい環境を保つ為に、職員間の連絡や相談、資質の向上に取り組んでいる様子が伺える。一方で今の時代、メンタルヘルス対策も重要視すると職員の質の向上も上がり、結果、良い保育、質の高い保育へと繋がって行くのではないかと思う。